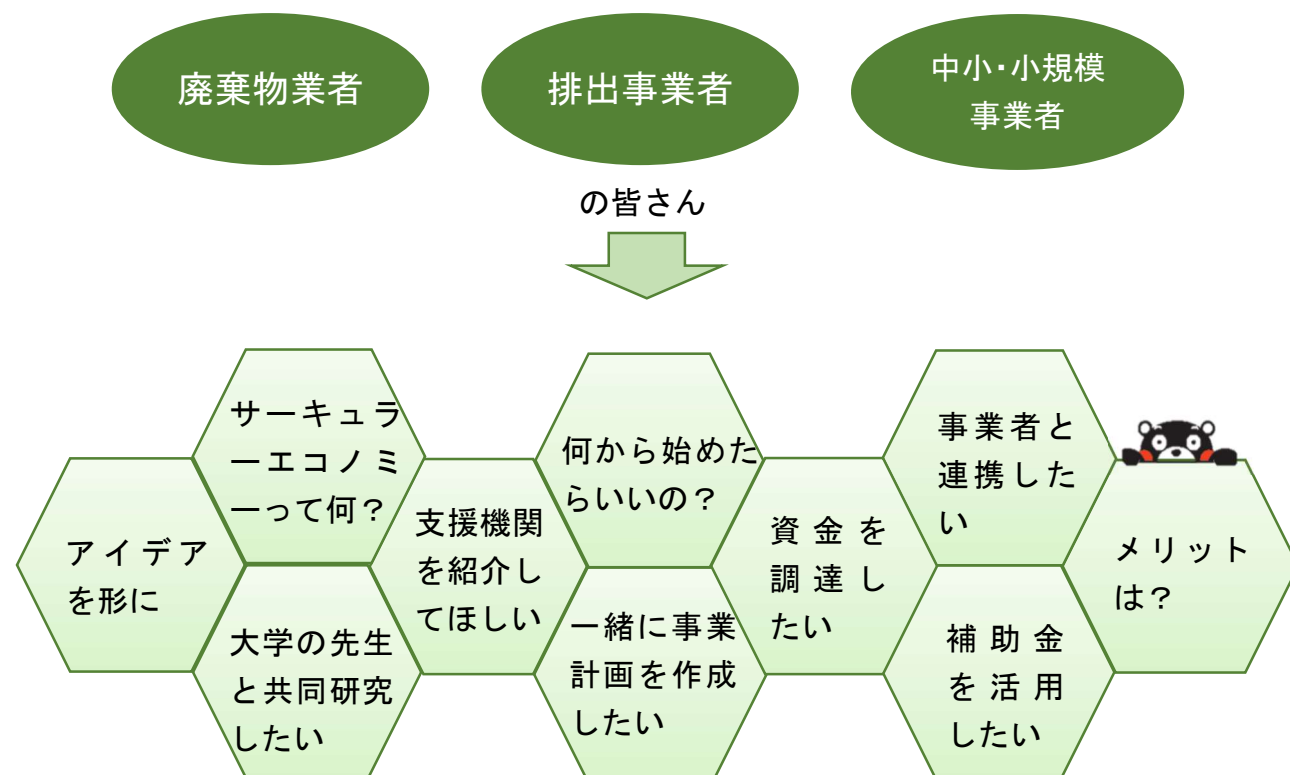


～循環経済をビジネスチャンスに～

貴企業の挑戦を**無料**で専門家がサポート！



この度、熊本県では、持続可能な地域社会の実現に向けた「サーキュラーエコノミー（循環経済）」の周知と企業様の具体的で積極的な取組みをサポートするため、『サーキュラーエコノミー相談・マッチング支援員制度』を立ち上げました。

サーキュラーエコノミー（C E・循環経済）は、資源の有効活用による環境負荷の低減、コストの削減だけでなく、新たなビジネスチャンスの創出や地域経済の活性化にも繋がります、未来を築くための重要な考え方です。

熊本県としても、これまでの3 Rの取組みを深化させてC E活動を推進する事業者の持続可能な事業化に向けて相談と支援を行い、事業収益のアップと雇用を増加させ、ひいては地域の経済浮揚に繋げることを目的としています。

悩んだら一緒に解決していきましょう！

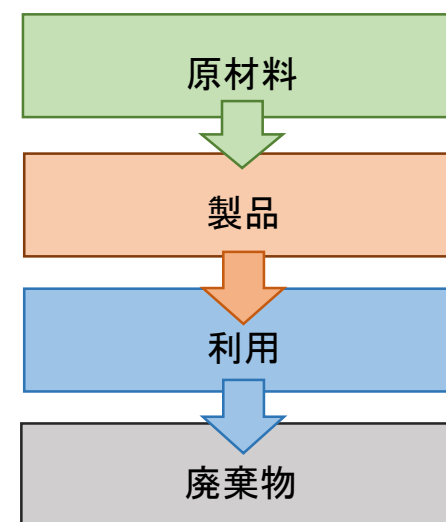
熊本県環境生活部 環境局 循環社会推進課

サーキュラーエコノミーマッチング相談・支援員

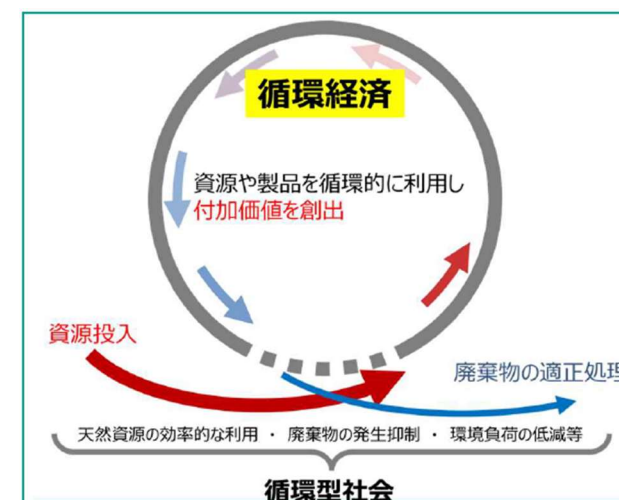
☎ 096-333-2277 月～木 9:00～17:00

サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行のイメージ

リニアエコノミー（線型経済）



サーキュラーエコノミー（循環経済）



（環境省第五次循環型社会形成推進基本計画概要資料から引用）

サーキュラーエコノミーとは？

大量消費・大量廃棄型の経済から、資源投入量・消費量を抑え、持続可能な形で資源を効率的・循環的に利用する新たな経済システム（循環経済）を目指すものです。

これまでは、大量生産・大量消費・大量廃棄型のリニアエコノミー（線形経済）でしたが、持続可能な形で資源を効率的・循環的に有効利用するサーキュラーエコノミー（循環経済）への移行を推進することが重要となっています。

この経済システムでは、例えば、以下に示す取組みなどにより、環境配慮設計や修理等により製品等の長寿命化、再利用、リサイクル等が促進され、資源が可能な限り効率的かつ循環的に利用され、天然資源利用や廃棄物が減少します。

サーキュラーエコノミーの主な取組み（具体例）

以下のようなサーキュラーエコノミーの取組みが進められています！

- | | |
|-------------|---|
| 環境配慮設計 | <ul style="list-style-type: none"> 商品開発時に、修理しやすさ、再生材の利用しやすさライフサイクルコストなどを考慮した設計を行う
（例：ペットボトルを薄くしてプラスチック使用量を減らす） |
| サービスの「脱モノ化」 | <ul style="list-style-type: none"> モノを所有することなく利用できるサービスの提供
（例：自動車・家電などのサブスクリプションや、レンタルサービスなど） 地域内でのモノ・スキル・スペース等のシェアリングサービス
（例：自転車、傘などのシェアリング） |
| アップサイクル | <ul style="list-style-type: none"> 新たな価値を創造した上で再利用する
（例：使わなくなった着物を洋服や靴に、家具などをリメイクして販売） |
| 水平リサイクル | <ul style="list-style-type: none"> 使用済み製品を原料として、再び同じ種類の製品を製造する
（例：使用済み電子機器から、金属素材を回収して、再度電子機器に使用する） |

相談例

現状把握

- ・サーキュラーエコノミーに取組んでみたいけど、自社にどのようなメリットがあるのかなど、誰に相談したらいいかわからない

製品・サービス

- ・製品の長寿命化や修理の可能性について検討したい
- ・資源効率性の高い素材の選定や代替製品への転換について検討したい
- ・不要となった製品を修理・再生して再販する取組みについて相談したい
- ・水平リサイクル・アップサイクル・サービスの「脱モノ化」の取組み事例等を知りたい

生産プロセス

- ・自社の製造工程で発生する廃棄物、副産物を有効活用したい

物流・サプライチェーン

- ・使用済製品や廃棄物の回収・輸送の効率的なシステムの構築について検討したい

ビジネスモデル変革

- ・地域内で資源を循環させるための枠組みづくりについて知りたい
- ・民間事業者・自治体・NPO などとの協働体制づくりに関して相談したい
- ・市民参加型・意識啓発を含む循環型社会への移行支援について知りたい
- ・リサイクル・再資源化技術の導入にあたって連携先を探している

事業計画・資金計画

- ・市場性、採算性の確保や事業化手法に関して相談したい
- ・サーキュラーエコノミー関連の法規制・補助金・認証制度について知りたい



相談の流れ

◆サーキュラーエコノミーの取組みに関して、ご相談・お尋ねなどのある方は、まずは下記のお電話、メール等でご気軽にご連絡ください。

◆サーキュラーエコノミー推進のために、事業者の皆様の具体的な取組みをどのように後押しできるかもお伝えするとともに、サーキュラーエコノミー診断などによる現状・課題把握から課題解決へ向けてのサポートもいたします。

step	アクション	対応内容等
1	お電話、メール等 でのご連絡	支援員制度の活用方法 相談シート作成により相談事項の整理
2	支援員による相談 対応	現状・課題把握（サーキュラーエコノミー診断）、 課題抽出、方針・目標設定 ビジネスモデルの想定・構築 など
3	マッチング	関連機関や企業とのマッチング支援（共同研究、共同開 発、共同加工、共同販売等の仕組み・体制構築など）
4	製品化・事業化	製品化支援（製品試作、テスト販売など） 事業化支援（生産計画・販売計画、収支計画、資金計 画・資金調達計画、組織体制計画など）

サーキュラーエコノミー診断について

評価項目を設け、貴企業の現在の取組について評価を行い、現状把握・改善点の特定を行います。

また、今後具体的に何に取り組めばよいか、計画のサポートを行います。

※サーキュラーエコノミーに関するご相談において、下記のシートも参考にされ、電話・メール等でご連絡ください。

項目	相談テーマ例
相談の主なテーマ （複数選択可）	☐ 現状把握・目標設定 ☐ 製品・サービス ☐ 生産プロセス ☐ 物流・サプライチェーン ☐ 回収スキーム ☐ 地域内循環 ☐ 連携・協業 ☐ ビジネスモデル設計 ☐ 再資源化 ☐ リユース・リファーマービッシュ ☐ 制度対応 ☐ 関係者意識啓発 ☐ その他
現在抱えている課題	例：廃棄物の処理コストが高い、リサイクル先が見つからない 等
希望する支援・内容	例：再利用スキームの提案、制度の解釈支援、協業先紹介 等

補助金情報等、Instagram、HPで情報発信中！



Instagram



HP



熊本県環境生活部 環境局 循環社会推進課

サーキュラーエコノミーマッチング相談・支援員

☎ 096-333-2277

月～木 9:00～17:00

メール: junkanshakai@pref.kumamoto.lg.jp

